

# 市民総参画による ふるさと共創



白石市長  
風間 康静

新年明けまして  
おめでとうございます

市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。市長に就任してはや2年2カ月が経過しましたが、これまで多くの市民の皆様が力強いご支援とご協力をいただきながら、市政運営に全力を傾注することができましたこと、心から御礼申し上げます。

昨年は、「いじめ」や「虐待」が深刻な社会問題になりましたが、明日を担う子どもたちを地域社会全体で見守っていく必要があると感じています。

次に、安全安心なまちづくりとして開始した「しろいし安心メール配信サービス」は、より迅速で正確な情報提供を行ってまいります。さらに、多くの地域で自主防災組織が設立されるよう、自主防災組織補助金制度を活用しながら支援し、地域の防災力を高めてまいります。

平成20年には、大型観光宣伝事業である「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」が展開されます。これに先立ち、今年の10月から12月にJR・宮城県・関係市町と連携してプレキャンペーンを実施し、白石の自然・歴史・文化などの魅力を広くPRしてまいります。

次に教育文化関係では、老朽化している南中学校について、快適な学習環境を整備するため、実施設計に基づき建設を進め、平成20年度の完成を目指してまいります。

白石市博物館構想については、昨年4月に博物館建設準備室を設置しました。本年も、市内に現存する文化財の調査および収集を継続するとともに、白石市博物館建設委員会を開催し、専門家の意見を求めると同時に、広く市民の意見を聞き、白石市の将来を見据えながら対応してまいりたいと考えています。

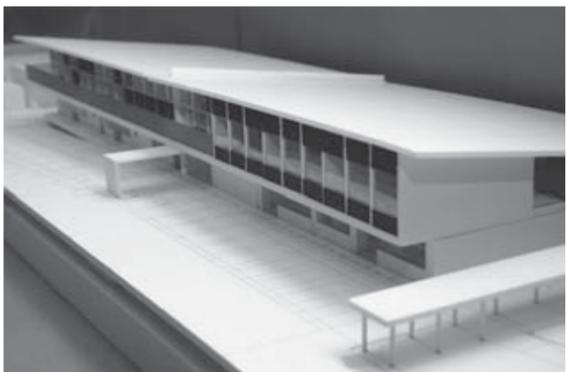
そのほか、都市計画道路「沖の沢郡山線」の早期完成を目指すとともに、障害者福祉サービスに係る利用者負担軽減措置などによる福祉の充実や保健・医療との連携による健康寿命の延

また、公務員による飲酒運転や夕張市の財政破たん、談合による知事の逮捕など、自治体に厳しい目が向けられた年でもありました。

当市の昨年を振り返りますと、小原地区にスパッシュランド大吊橋が開通、白石城新能や田舎暮らし体験ツアーの開催、白石藩倶楽部事業や歩いて楽しめるまちづくりとしての城下町回遊ルート整備など、新たな魅力を県内外に広く発信することができました。



▲昨年4月6日に開通したスパッシュランド大吊り橋



▲南中学校の完成予定模型

伸を図る施策を実施してまいります。最後に行政改革でありますが、今後も地方交付税の削減が見込まれるなどの厳しい財政状況にあつて、市民サービスを維持していくためには、行政の効率的かつ効果的な推進は不可欠であります。職員一丸となつて白石市行政改革推進計画を推進し、市民サービスの向上と人に優しい行政を実現できるような取り組みをまいります。

本年も、白石市の限らない発展に向け、「共汗」「共学」「共生」をモットーに精一杯取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。結びとなりますが、この1年が皆様にとりまして明るく幸せな年でありますよう心からお祈りし、まして、新年のごあいさつとします。

さらに、白石城下生き粋フェスティバル、白石城夏の祭典スペシャル、ギネスに挑戦流しうーめん大会などの市民手づくりによるイベントも数多く行われ、新たなにぎわいを創り出している。ただ、大変うれしく思っています。



▲昨年6月18日に開催された「白石城新能」

さて、迎えた2007年、当市においても、三位一体改革の影響で厳しい財政運営を強いられています。心新たに、「市民総参画によるふるさと共創」を目指し、次世代に誇りを持って引き継ぐことができる「こころ豊かなふるさと白石」の実現に向け、全力を尽くしてまいります。

まず、昨年「白石市福祉の郷構想」に基づき購入した旧かんぼの宿は、市民の健康増進および介護予防の拠点として社会福祉法人に引き継ぎ、今春から運営されます。現在運営している老



白石市議会議長  
高橋 忠夫

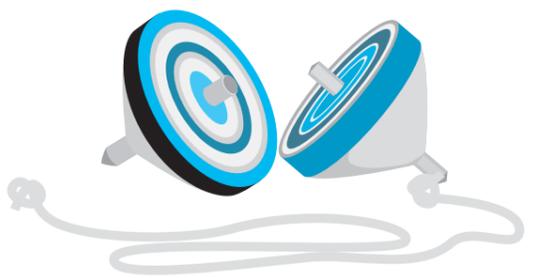
市民の皆様、  
あけましておめでとうございます

市民の皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。日ごろから市議会に温かいご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、市政の基本理念である「共汗・共学・共生によるこころ豊かなふるさと白石」の実現に向けて市民と行政が共に汗を流し、しろいし安心メールの配信開始や各自自治会における自主防災組織の設立、中学生PSCパトロールの発足、市庁舎耐震補強工事、福祉の郷構想に基づく旧かんぼの宿購入、スパッシュランド大吊橋の開通、行財政改革の推進、地域農業いきいき推進事業の開始、市民手づくりによる白石城下生き粋フェスティバルやギネスに挑戦流しうーめん大会など、多くの事業が実施され大変有意義な年でした。

また、市議会では、「議員定数等」

人福祉センターの機能も、この施設に移管する準備を進めていますので、引き続き多くの方々にご利用いただきたいと思っています。



▲「薬師の湯」として健康増進と介護予防の拠点として生まれ変わります。

の議論を行い、本年4月の市議改選から議員定数を現行の24名から3名削減して21名にすることとしました。「議会運営に関する諸問題調査」を実施し、市ホームページ内に「市議会のページ」を設け、議会の活性化と市民に分かりやすい開かれた議会づくりに努めるとともに、都市計画道路「沖の沢郡山線」事業推進の要望活動など、市民の理解と市政発展に尽くしてまいりました。

我が国の景気動向は、明るくなり始めたとはいえ、当地域は依然として低迷を続けています。

当市では、三位一体改革の影響で厳しい財政運営を強いられています。また、「いじめ」「虐待」「飲酒運転」などが深刻な社会問題となり、国・地方とも新たな対応が求められています。

このような変化の激しい社会状況の中、市議会では今後とも市政の諸課題に対し、的確かつスピーディーに対応すべく議員各位のパワーを結集し、さらに議会活性化を推進して市民が「安全・安心に暮らせるまちづくり」にしっかりと対応するため、議員一同決意を新たにしています。

市民の皆様におかれましては、今後とも格別なご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年も、皆様にとりまして幸多き年でありますよう議員一同ご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとします。

